



第2回 緑のカーテン コンテスト 2020

富士川町地球温暖化対策地域協議会

計 画 書

1. 活動の趣旨・目的

- ・緑のカーテンの普及と生活スタイルの見直し
- ・町内で環境問題に取り組み人たちの紹介
- ・町内の商店の応援

2. 活動の内容(①項目、②実施時期、③参加予定者数、④場所、⑤内容 等)

- ① 第2回緑のカーテンコンテストin富士川町 ②7月~(宣伝・準備) 9/1~9/30(応募期間) 10月~審査・発表・表彰 ③50名 ④富士川町内 ⑤コンテストに関わる宣伝・募集受付・審査・発表・表彰・賞品(エコグッズ貸出券等)の配布

3. 活動を行うこととなった背景

これまでエコふじかわはイベントや啓蒙中心の活動であったが、すでに町内でエネルギーやCO2削減に取り組む人たちの“お宝”を発掘し、評価・紹介することで人々を結び付け、環境問題を身近に考えることができなかつたかと考えた。しかも今年は、コロナで自宅にいる事が多くなっている。賞品にエコグッズ貸し出しを採用することで単発型の取り組みでなくなり、地域での日常生活に時間と手間をかける生活スタイルを応援していけるのではないかと思う。

4. 活動の必要性

一人一人がCO2削減や環境問題に対するアプローチを具体的な形で実行し、楽しく、持続的に続けること

5. 活動により期待できる効果

- ・緑のカーテンの技術の向上や生活スタイルの見直し
- ・住民の自主的な参加
- ・本会の宣伝と知名度UP

6. 今後の計画(来年度以降の活動計画等について、具体的に)

- ・エコティーチャー派遣 冊子の作成
- ・第3回緑のカーテンコンテスト
- ・エコグッズ貸し出しの拡充

7. その他

応募作品



工夫した点 アピール

藤は20年前日蔭用にと苗を植えました。白い藤の花なので珍しいらしく、花時は立ち止まって見てくださいます。棚は主人が作りました。きれいにさせるために蔓のカットは私の役目です。朝夕カットして見た目をよくしております。西側は宿根朝顔、オーシャンブルー。西日が当たるのでそれを防ぐために。花色は朝は青色、夕方になると赤紫になる。1つの房に2種類の花色が楽しめる朝顔です。葉っぱが大きいので、緑のカーテンにはピッタリだと思います。

よく広く伸び、たくさんの花を咲かせるところ。
・涼を求めるのは最高です。

・家の前が、隣の屋根、道路なので、照り返しが強いので、毎年ゴーヤが一番やわらかい葉の涼しさを与えてくれます。

・工夫したところ、アピールポイント...昨年は地植えでしたが、今年は1本ずつ大きな鉢に植えて育てました。途中から朝顔の鉢植えも隣に置き一緒に育てました。6月、7月は長雨で日照不足の影響もあったのか、成長がゆっくりでしたが、8月に入るとどんどん育ってしっかりした緑のカーテンになりました。
途中で追肥も行いました。
・遮熱の効果...東側の窓をしっかりと緑のカーテンがふさいでくれたので、日よけになって、8月の猛暑でも気持ちよく過ごせました。

玄関は西日をいっぱい浴びます。入り回はゴーヤのつるをアーチ型に誘引しつるが一気に縦に伸びないように管理します。建物の東側に位置する居間は午前中に強い日射しを受けますので、屋根まで届くように、つるを誘引管理します。ゴーヤの収穫量も多く、食卓で楽しんでいます。また、庭も全面芝生にして室内気温を低くするために大きな働きをしています。ゴーヤは、化学薬品の消毒は使いません。ゴーヤには何時でも蜜蜂がむらがり、自然受粉をしてくれます。芝生も健康配慮のために一切、薬品消毒はしていません

賞品は 買物券とエコ グッズ貸出券



The image is a split-screen composition. The left side shows a large, black, cylindrical pot sitting on a wood gas stove. A fire is visible at the base of the stove. The right side shows a solar cooker, which is a circular, reflective metal dish with a central pot. The cooker is positioned to catch sunlight, and a piece of sweet potato is being cooked in the central pot. The background is a dark, textured surface, possibly a wall or a ground cover.

ウッドガスストーブとソーラークッカー

天気のいい日は クッカーで焼いた芋とウッドガスで炊いた米で飯にする

どこでもヒノキ風呂



水と枝・木材があればどこでも風呂にはいれる

薪で沸かした風呂はどこまでも暖かく さめにくい

成果と課題

* コロナ禍と人不足の中で、宣伝方法や活動のあり方

講習会 訪問 応募方法 会議

* お宝の発掘(宣伝 応募)→紹介→表彰→再評価(個人 社会)

楽しさは大事 だが効果を見える化する

一人一人の生活スタイルの見直しにつなげる